

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（営業担当）	・このままゆるやかな回復で前年を上回ると思われる。		
		商店街（代表者）	・今月はイベントがあり客の動きも良く販売量が多い。しかし高額なものは売れていない。		
		スーパー（店長）	・販売量は減少しているが、紳士・子ども服が1年ぶりに売行き好調であり、明るい兆しを見せている。		
		スーパー（企画担当）	・改装店舗の好調さに加え、既存店売上対策の効果が期待される。		
		衣料品専門店（経営者）	・国内ではSARSも一応の落ち着きを見せているため、現在の状況がこのまま安定すれば景気も上向きになる。		
		コンビニ（店長）	・来客数が増え、下降線をたどっていた単価も上がりそうである。売上自体はそれほど増えてはいないが、これから先に少し期待感を抱かせる状況になっている。周囲では新幹線工事等が始まり、その相乗効果と見られる。		
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・平成14年1月に経営破綻したりゾート施設が、新たにオープン予定である。安近短旅行を求めてにぎわい、地元雇用も増えるなど、明るい話題となると見られる。		
変わらない		商店街（代表者）	・中心街から大型店がなくなり、来街者が少なくなった。商店街では物産市を第2、4日曜日に行っているが、それでも人通りは依然厳しいままであり、今後もこの傾向が続く。		
		商店街（代表者）	・消費者の購買マインドが完全に冷え込んでいる。SARSの影響もあり全体的に低調である。		
		百貨店（営業担当）	・買い控え傾向がギフトから自家需要に移行してきた。催事により来店が増加しても購買につながらない。		
		百貨店（売場担当）	・入店客数はほぼ回復したが、主力の婦人衣料品、身の回り品が不調である。これらは2、3か月先の動向を判断する上でポイントにしている。		
		一般小売店〔茶〕（店長）	・経済政策や金融政策の不振に加えてSARS等の影響により、さらなる深刻な金融不況に突入している。この傾向は今後も続く。		
		コンビニ（エリア担当）	・たばこの増税を7月に控え、駆け込み需要が期待できる。		
		家電量販店（経営者）	・使用している電気製品が故障しても、最近では買い替えにつながらない。		
		乗用車販売店（管理担当）	・中古車の売行きは堅調である。新車はほぼ通常どおりである。		
		その他小売〔雑貨卸〕（総務担当）	・SARSやイラク戦争の後遺症が徐々に売上に影響しそうである。		
		高級レストラン（スタッフ）	・SARSの影響が懸念される。		
		観光型ホテル（スタッフ）	・SARSの影響で、アジアからの宿泊減少が懸念される。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・予約状況は通常どおりであり、SARSの影響は見られない。		
		タクシー運転手	・修学旅行等の団体客が海外旅行を国内旅行に切り替えているようである。SARSの影響もあると思われるが、この傾向は2、3か月先まで続く。		
		通信会社（業務担当）	・カメラ付き携帯電話の新機種の発売とキャンペーンにより、買換え需要が大きく伸びることが予想される。一方、新規販売は、他会社からの切替えは容易ではなく、それほど伸びない。		
		テーマパーク（職員）	・SARSの影響により7～8月に予定されていた台湾からのツアーが延期になっている。		
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン特別減税により、動きが見られそうだが、先行きは不透明である。		
		住宅販売会社（従業員）	・住宅ローン特別減税による駆け込み需要が若干見込まれる。		
		やや悪くなる		商店街（代表者）	・メイン通りで、老舗が業務縮小を決定している。
				百貨店（業務担当）	・SARS等の問題や賞与見送り等は、消費マインドを下げる。
				スーパー（経理担当）	・地元小売店を中心に陣取り合戦のように出店が続く、販売量・客単価ともますます下落することが懸念される。
衣料品専門店（店長）	・今年1月から、土日祝日の売上が極端に減少している。この傾向が今後も続く。				

		家電量販店（企画担当）	・銀行の不良債権問題やSARS問題等により、消費が冷え切っている。この傾向が今後も続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・SARS問題が長期化し、個人消費が落ちこむことが懸念される。
		都市型ホテル（総支配人）	・SARSの影響が懸念される。
		旅行代理店（従業員）	・東南アジア路線を持つ航空会社がフライトをキャンセルするなど、回復の兆しが見えない。
		旅行代理店（従業員）	・夏休み期間にSARSの影響が懸念される。
		旅行代理店（業務担当）	・国内旅行への振り替えを喚起するような企画案が、国内の運輸規制などで実現に時間がかかり、商品の提供が遅れている。
		タクシー運転手	・お年寄りが病院に行く利用が少なくなった。医療費の3割負担等の影響で、タクシーを使わない高齢者が増えている。この傾向は今後も続く。
		競輪場（職員）	・来客数は前回調査と同様だが、購入単価が3～5%減少している。
	悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・SARS等の一過性の原因ではなく、失業率の上昇や消費税引き上げの懸念等の不安材料が、消費を冷やしている。
		コンビニ（店長）	・イラク戦争が終結した矢先にSARSが発生し、先行きが見えない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・SARSの影響で中国からの輸入がストップし、国産物の引き合いが強くなっている。
		繊維工業（営業）	・SARSの影響は不明である。
		鉄鋼業（経営者）	・原料価格が当面2か月程度は安定すると予想されている。製品売上価格の上昇が期待できる。
		建設業（総務担当）	・見積依頼が非常に増えてきた。一方で受注した場合の工事を消化するための資金調達が心配である。
	変わらない	金属製品製造業（企画担当）	・一部上場会社の損益回復は別格として、中小企業は設備投資する体力も無く、投資に見合う効果を見いだすことができない状態である。
		電気機械器具製造業（経営者）	・半導体関連の各大手の動きであるが、6、7月とスポット的に受注が入っている。これは過去1年間は見られなかった状況である。また液晶関連のロボットに関しても動きはさほど悪くない。
		建設業（総務担当）	・SARS問題が大きく影響する。
		通信業（経理担当）	・SARS問題で日本も協力するようなことになれば大きな影響が出るのではと心配している。
		広告代理店（従業員）	・新聞折込チラシの受注金額・受注枚数・受注件数とも横ばいであり、企業の広告予算から推察して、今度の伸びも期待できない。
		経営コンサルタント	・国内景気が悪い上に、SARS問題等の悪い要素が重なっている。
		経営コンサルタント	・地元の金融関係の貸出はさらにシビアになりつつあり、この状況が中小企業を圧迫していくのではないかと懸念している。
	やや悪くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・見積依頼が少ない。また、少ない仕事を安い価格で取り合うという状況は、今後益々激化し、その仕事も2ヶ月先は不透明である。
		家具製造業（従業員）	・家具をヨーロッパから輸入しているが、ユーロ高が続いているため為替の影響で悪くなる。
	悪くなる	不動産業（従業員）	・住宅展示場部門の出展が減少している。また、サラリーマン層の来客が減っており、住宅需要の先行きが懸念される。出展メーカーの倒産も相次いでおり、回復の兆しが見えない。
その他サービス業〔物産リース〕（役員）		・SARSの影響は県内観光業者、特に旅館ホテルに出ており、経営マインドの一層の冷え込みが景気回復の遅れを心配させる。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・最近の求職者の動きを見ると、働く条件よりもまず就業の安定を最優先する必要がある。このままでは就業の安定を図ることが非常に難しい。
		職業安定所（職員）	・事業主都合による解雇者は減少しているが、ホテル等観光産業でSARSの影響を心配する声をよく聞く。
民間職業紹介機関（支店長）		・半導体・エレクトロニクス業界の一部に、生産増強に関連して、プラス材料が見えている。	

やや悪くなる	求人情報誌製作会社 (編集者) 新聞社 [求人広告] (担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・現場を回っていて人材採用に積極的な話を聞くことが少ない。 ・身近な問題より、SARSや北朝鮮情勢が景気に大きく影響している。例えば旅行代理店では、アルバイトや契約社員を解雇するところが出始めている。
悪くなる	-	-